

2020年度 事業計画

北海道エアポート株式会社

本計画における旅客数等の目標値

■ 旅客数等目標(カッコ内は2018年度実績)(注1)

		新千歳	稚内	釧路	函館	旭川	帯広	女満別	7 空港計
旅客数 (万人)	国内線	2,105 (1,978)	20.6 (19.9)	92.1 (81.1)	171.3 (160.8)	114.6 (108.1)	72.6 (67.8)	93.4 (84.1)	2,669 (2,500)
	国際線	411 (386)	0.2 (0.0)	1.4 (0.1)	20.0 (18.0)	11.3 (5.5)	0.3 (0.1)	0.3 (0.2)	445 (410)
	合計	2,516 (2,363)	20.8 (19.9)	93.5 (81.2)	191.3 (178.9)	125.9 (113.6)	72.9 (67.9)	93.7 (84.3)	3,114 (2,910)
貨物量 (百t)		2,149 (1,881)	2 (2)	29 (24)	62 (61)	48 (53)	27 (22)	17 (16)	2,336 (2,059)

■ 損益計算書(億円)(注2)

営業収益	983
売上総利益	484
営業費用	468
営業利益	16
EBITDA(注3)	214

(注1) 本頁の旅客数等の目標値については、四捨五入により合計が合わない場合がある。

(注2) 空港運営事業の事業期間は以下の通り

新千歳：2020/6～2021/3

旭川：2020/10～2021/3

稚内・釧路・函館・帯広・女満別：2021/3

(注3) 営業利益に減価償却費を足し戻した経営指標

＜① 確実な事業承継と運営体制の確立＞

空港運営事業・ビル施設事業を確実に承継し、安全・安心かつ効果的・効率的な個別空港の運営、7空港一体運営、上下一体運営の遂行に向けた万全の事業実施体制を確立します

＜② 地域一体での取組体制の確立＞

全道・各空港所在地域それぞれにおける関係者と一体となった取組体制を確立します

＜③ 航空ネットワーク分散・拡大、広域観光振興に向けた戦略の始動＞

航空需要の動向や新千歳空港の発着枠拡大等を踏まえた、航空ネットワークの分散・拡大、広域観光の振興に係る戦略を始動させます

＜④ 空港施設の利便性・安全性向上に向けた施策への着手＞

7空港全てにおける空港施設の利便性・安全性向上に向けたソフト施策や施設整備に着手します

目標達成に向けた主な取組み①

確実な事業承継と運営体制の確立

- 構成員からの出向や協力企業からの派遣、新規採用等を通じた人員確保や万全の引継体制・モニタリング体制構築等による7空港の運用業務の確実な承継
- 空港運営事業とビル施設事業の一体的な経営・運営体制の確立
- 「北海道オペレーションセンター」の整備への着手等、7空港一体運用による安全・保安の維持・向上

地域一体での取組体制の確立

- 7空港一体運営協議会及び空港別協議会の設置・運営を通じた、地域一体での空港運営体制の構築
- 地域共生専門部署等による従来の地域共生の確実な承継と地域との信頼関係構築
- 空港振興・環境整備支援機構等による助成事業の承継と地域のニーズに合わせた制度の拡充・改善

航空ネットワーク分散・拡大、広域観光振興に向けた戦略の始動

■ 航空ネットワーク分散・拡大

- 航空ネットワークの分散・拡大を促進する新たな料金体系・多様なインセンティブの導入
- エアライン誘致専門部署による7空港での一体的なエアライン営業の推進
- データや海外空港運営会社のノウハウを活用したマーケティング戦略の推進
- 新千歳空港の発着枠拡大への対応含め、就航機会を逃さないグランドハンドリング・給油・除雪等の受入体制強化

■ 広域観光の振興

- 行政・DMO・関連団体・旅行会社・交通事業者等、地域の観光関係者と一体となった施策推進体制の確立
- 既存データの分析を通じたマーケティング戦略策定、Web上での観光コンテンツ・二次交通情報等の提供、Web・アプリの設計・整備など、デジタルマーケティングへの着手
- 周遊観光商品や重点ターゲットに訴求する観光商品の開発
- 7空港全てにおける観光コンシェルジュの運営体制構築に向けた検討

目標達成に向けた主な取組み②

空港施設の利便性・安全性向上に向けた施策への着手

■ 新千歳空港

- ・ 国内線旅客ビル施設の到着階拡張や搭乗待合室の混雑緩和、JR新千歳空港駅からの縦導線改善等、既存施設の利便性向上のための施設整備に向けた基本計画の策定
- ・ 北海道へのビジネスジェット利用者の利便性向上のための専用ターミナル整備に向けた基本計画の策定
- ・ カーブサイド、駐車場等の利便性・安全性向上のための再整備に向けた基本計画の策定
- ・ 増加する国際貨物需要に応える国際貨物ビル施設の拡張整備に向けた基本計画の策定
- ・ 国内線エプロン拡張等に係る調査

■ 稚内空港

- ・ 国際線受入環境や道の駅機能等の整備を含む旅客ビル施設建替えに向けた基本計画の策定
- ・ 駐車場拡充や24時間利用化に係る基本計画の策定

■ 釧路空港

- ・ 2021年度中の約300台増設（合計約1000台）を含む駐車場再整備に係る基本計画の策定
- ・ 航空局、空港振興・環境整備支援機構と連携した当面の駐車台数確保に向けた取組みの推進
- ・ 国内線保安検査場の手荷物移動レーンの延長による利便性向上
- ・ 国際線専用施設の整備や商業エリアの拡大・リニューアルを伴う旅客ビル施設の増改築に向けた基本計画の策定

■ 函館空港

- ・ 国際線受入環境の大幅な拡充や商業エリアの拡大・リニューアルを含む旅客ビル施設の増改築に向けた基本計画の策定
- ・ 保安検査場の拡張、先進機器導入によるFAST TRAVEL推進に向けた基本計画の策定

■ 旭川空港

- ・ ターミナル前面の大規模増築による交通観光拠点整備・商業施設拡充に向けた基本計画の策定
- ・ カーブサイド改良や駐車場拡張による利便性・安全性向上に向けた基本計画の策定
- ・ 国内線保安検査場拡大に向けた基本計画の策定

■ 帯広空港

- ・ 駐車場の拡張、歩道ルーフ設置、立体駐車場整備、カーブサイド再編等による利便性・安全性向上に向けた基本計画の策定
- ・ 貨物ビル施設への温度管理設備の設置
- ・ ビジネスジェット専用の格納庫・エプロン整備に係る基本計画の策定
- ・ 国内線旅客ビル施設の利便性向上のための内部改修に向けた基本計画の策定

■ 女満別空港

- ・ 国際線専用施設の整備や商業エリアの拡大・リニューアルを伴う旅客ビル施設の増改築に向けた基本計画の策定
- ・ 温度管理設備を備えた貨物ビル施設新設に向けた基本計画の策定

投資計画

		機能維持 投資	活性化投資	投資合計	投資内容
投資額合計		22.7億円	23.0億円	45.7億円	
新千歳	エアサイド	6.3億円	2.6億円	35.9億円	<機能維持投資> エアサイド：空港基本施設の維持管理 ランドサイド：旅客ビル施設に関する修繕・更新等 <活性化投資> 各種施設整備に係る基本計画の策定等
	ランドサイド	13.4億円	13.6億円		
稚内	エアサイド	0.0億円	1.0億円	1.9億円	
	ランドサイド	0.0億円	0.9億円		
釧路	エアサイド	0.0億円	0.6億円	1.5億円	
	ランドサイド	0.5億円	0.4億円		
函館	エアサイド	0.0億円	0.7億円	2.8億円	
	ランドサイド	1.3億円	0.9億円		
旭川	エアサイド	0.4億円	0.5億円	1.6億円	
	ランドサイド	0.3億円	0.4億円		
帯広	エアサイド	0.0億円	0.4億円	1.0億円	
	ランドサイド	0.0億円	0.5億円		
女満別	エアサイド	0.2億円	0.2億円	1.1億円	
	ランドサイド	0.3億円	0.4億円		

(注) 本頁の投資金額については、四捨五入により合計が合わない場合がある。